

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	黒木キャンプ場
(2) 指定管理者	所在地 津山市山下97-1 名称 公益社団法人 津山市観光協会 代表者 会長 松岡 裕司
(3) 公の施設の所管部署	農林部 農村整備課
(4) 指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
(5) 評価対象期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	テントサイト 利用件数 1,140件 (前年度 1,274件)
	バンガロー 利用件数 619件 (前年度 631件)
	利用延人数 12,623人 (前年度 14,770人)
(2) 事業の内容	黒木キャンプ場の施設等の利用許可・運営・管理

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総 額	23,077千円 (前年度 22,434千円)
	施設利用料金	10,097千円
	指定管理料	9,231千円
	自主事業	3,090千円
	その他	659千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総 額	23,077千円 (前年度22,434千円)
	人件費	10,499千円
	光熱水費	2,485千円
	修繕・消耗品費等	5,765千円
	委託料	1,475千円
	負担金・公租公課	1,033千円
	原材料費	784千円
	備品購入費	420千円
その他	616千円	

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	○ 利用者にアンケート用紙を渡して、意見・要望を記入してもらっており、概ね良好な意見であった。
(2) 指定管理者の自己評価	○ 昨年同様、コロナウイルス感染予防対策のため施設の休止期間がキャンプの最適時期と重なったが、感染防止の対策を行いながら運営に努めた。 ○ 第1・第2キャンプ場はテントサイトの一部を車乗り入れ可としており、稼働率が高い。第3キャンプ場は荷物運搬のみ車乗り入れ可とし改善を行った。 ○ インターネット・フェイスブック等で木工教室、体験教室等の各種イベント、キャンプ場周辺情報のPR活動を強化し、黒木キャンプ場の周知・集客を図った。
(3) 市の評価	○ 協定の範囲内で利用者のニーズにあった対応をしており、特にテントサイトの利用者数は、増加しており評価できる。また、自主事業として実施している第3キャンプ場の冬期利用も年々増加している。 今後も引き続き、さらなる集客を目指し、様々な広報媒体を活用した施設のPRや、地域の魅力を活かした自主事業を実施されたい。